

第286回: 東北の虎、西北の狼

先週の7月30日午後、「第285回: 赤い貴族の避暑地」をアップした。8月1日は中国人民解放軍(PLA)の88回目の建軍記念日であり、それが終わり次第、習近平執行部が長老たちと政権運営方針につき議論する北戴河会議が始まりそうな気配なので、その前に腐敗汚職キャンペーンの大物ターゲットとして去就が注目されている人民解放軍(PLA)郭伯雄上将(73歳、前軍事委副主席)の動向につきコメントを書いた方がよいと思ったからだ。

郭伯雄の逮捕が本当に公表されるのか、それとも揉み消されるのか、もし発表があるとすれば、そのタイミングが北戴河会議の前か後か、チャイナウォッチャーの間には様々な予測があったのだが、あにはからんや、コラムを書いた数時間後に公式報道があるとは。習近平の心中を察するに、「郭伯雄の処分はオレが決めるよ。北戴河会議で爺さんたちと議論する余地はないからね」、こんな感じかな。要は長老に対する習さんの最後通牒なのだろう。爺さんが江沢民(元主席)と、その“若頭”曾慶紅(元国家主席)、そして李鵬(元首相)を指していることは云うまでもない。

北戴河会議前の公表は予想通りだったが、ちょっと気になったのが発表時間だ。郭將軍の悪行を大々的に喧伝したければ、間違いなく中国人の多くが茶の間に集まるゴールデンタイムの午後7時を選ぶはずだ。ところが大本営は午後10時発とした。習近平の腰は若干引けているのではないか。因みに北京の10時は日本の午後11時だ。日本の報道各社も朝刊の締め切りの関係で大慌てだったらしい。

筆者の携帯にも夜中に新聞社から電話があり、問われて何か喋ったようだが酔っていたため余り覚えていない。郭伯雄のキーワードとして、蘭州軍区出身のノンキャリア組、先に失脚したエリート組の徐才厚よりも軍部内の人気が高い、株価への影響はあるわけない…等々コメントしたような気がするが。

郭上将より先に汚職で失脚し、今年3月に膀胱がんで死亡したため不起訴処分となった徐才厚上将(享年71歳)は瀋陽軍区で頭角を現わし、第39集團軍(衛戍地:遼寧省・遼陽)や第16集團軍(吉林省・長春)を經由して上将となった。作戦畑ではなく政治畑のキャリア軍人である。もちろん、ハルビン軍事工程学院卒だ。一方の郭伯雄は蘭州軍区の第19軍(現在の第21集團軍、衛戍地:陝西省・宝鷄)一筋で部隊の現場を歩き、運よく将官になった。翌日の中国各紙は東北のトラ徐才厚に次いで、西北のオオカミ郭伯雄が失脚したと報じている。そういえば、「前門拒虎、後門進狼(=前門の虎、後門の狼)」は中国の諺だった。二人とも江沢民によって抜擢され、彼が引退する際に胡錦濤を監視するPLAの代理人として軍事委員会に送り込まれ、胡錦濤が総書記を勤めた10年、PLAに君臨してきた元帥級の人物だ。

郭伯雄失脚に関する新華社電の概要は以下の通りである。

7月30日、中央政治局会議が開催され、军委規律検査委員会から提出のあった「郭伯雄の調査報告と処分案」を審議し、彼の党籍剥奪と、軍事檢察委員会送致を決定した。容疑は職務権限を利用した他人の昇進等への便宜供与と、自らあるいは家族を通じた金銭の受け取り。《以下省略》

ここで注目すべき点は、郭伯雄を告発したのは党中央規律検査委員会(規検委)本体ではなく、その傘下の党中央軍事委員会規律委員会(軍規委)であることだ。規検委の最高責任者(書記)は中国で序列第6位

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

の王岐山(政治局常務委員)、中国建設銀行の頭取を経験した金融通で、ヘアスタイルがちょっと不自然な男だ。規検委では王岐山の下に副書記が8名おり、そのなかで制服組の杜金才(上将・軍総政治部副主任)が軍規委書記を勤めている。この職位はPLAの中でも、総参謀長や国防相、海軍総司令官たちと比べると、月とスッポンの地味なポストだが、権力闘争においては政敵の頭をカチ割る薪雜把(まきざっぽう)のような極めて強力な武器になることが今回証明された。

習近平は太子党の出とはいえ、まだまだ権力基盤が脆弱で、PLA内部において彼が最も信頼する幹部は文革時代に抹殺された劉少奇・元国家主席の息子の劉源上将(総後勤部・政治委員)くらいしかない。習近平としては2017年の党大会で劉源を軍委副主席に据えたいところだろうが、彼の現ポストではどう考えても無理だ。どこの国の軍隊でも保守本流は陸軍、なおかつ士官学校の歩兵科や砲兵科出身であることが必要だ。もしも北京師範学院を卒業し、武装警察出身の劉源を制服組のトップに据えるような強引な人事を習近平が強行したら、軍の秩序は総崩れになる。戦前の帝国陸軍で憲兵や輜重科出身の大將が誕生しなかったのと一緒だ。そこで、いちばん収まりの良い巧妙な人事は、劉源を総政治部副主任に横滑りさせ、軍規委主席を兼務させることだ。王岐山と劉源がコンビを組めば、これは強い。幸いなことに杜金才よりも劉源の方が前任の上將であり、誰も文句は云えないだろう。

もう一つ、郭伯雄失脚で注目すべき点は、彼の罪状が、職権乱用による収賄等(階級の売買)に絞られていることだ。「収賄等」とあるからには、階級章とポスト売買以外の汚職もあるようだが、周永康と令計画の罪状と決定的に違うのは「国家機密問題」と「情婦の存在」に触れていないことだ。汚職だけでも重要な犯罪だが、腐敗官僚が好色漢と売国奴を兼務させられたら人間おしまいだ。中国の腐敗官僚の9割以上は愛人を囲っていると当局が公式に認めており、徐才厚と郭伯雄の二人のみが石部金吉であったわけがない。習近平には共産党を支える軍部の最上層部をとことん侮辱する度胸はないようだ。

事実、郭伯雄失脚を公表した翌日の7月31日、習近平は10名の中將を上將に昇格させた。いまPLAの現役上將は38名、そのうち21名は習近平が軍委主席就任以降の3年間に発令されている。徐郭コンビと違って、習近平は職権を乱用し上將ポストで金儲けをしているわけではないが、上將という軍人にとっての最上位階級をインセンティブにして軍権掌握に猛進しているのは明らかだ。そう理解すればPLAとの無用な軋轢は避けるべきであり、郭伯雄や徐才厚に対する控えめな処分の意図も分かるような気がする。ひょっとすると、郭伯雄は無期懲役ではなくて、10年程度の有期刑で済むかもしれない。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成27年8月3日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040